

小さなつながりが
まちの活力を生む。

若者がまちづくり活動について
それぞれの立場で考えました。



自分の「まち」は、知るほどに
好きになっていく。

木下 これまでいろいろなボランティア活動や「まち活」(まちづくり活動)に参加してきました。その中で、先輩から後輩へつないでいくことの大切さを経験的に感じています。先輩の呼び掛けがまちに目を向けるきっかけとなり、まち活を通して、自分が生活する地域で新しい発見をする。そんな小さなつながりが、だんだんと大きく広がっていくものと信じています。

私は生まれも育ちも白石ですが、さまざまな活動を通してまちを知るほどに、白石が好きになりました。



地域に出るための「きっかけ」があれば、前に進んでいける。

飯田 教師として、生徒たちには外に出ていろいろと学び、自信を付けてもらいたいと考えています。早い段階から

ら地域との関わりを持ち、生徒たちが自ら「社会」を感じることが大切です。地域のイベントも企画段階から携わることができれば、若者の充実感や達成感により大きくなるものと思います。

今後とも地域と生徒との「つながぎ役」として、また私自身も一人の若者として、さまざまな取り組みに積極的に関わっていききたいと思っています。



つながることによって「自分も変わっていく」と意識が変わる。

新岡 パソコン教室を通して、地域の方と直接交流する機会を得ました。まちづくり活動にいきなり自分から飛び込むのは容易ではありません。しかし実際に話をする、地域の方に話しやすい空気をつくっていただけたこともあり、互いに通じることができました。



まちづくり活動や地域の取り組みが、自分にも結び付いていることが感じられれば、自分も変わっていく「こう」という意識が生まれてくるものと思います。

「まちづくり」は決して特別なことではありません。

山本 日頃からコーディネート役として、若者の地域活動への参加をサポート

トしています。若者も地域の方も、お互いに理解を深め、小さな「気付き」を積み重ねることで、継続的な協力関係を築くことが可能です。地域ごとに事情や課題は異なることと思いますが、まちづくり活動の担い手となる若者が活躍する場面が増えるよう、働き掛けをしていきます。



編集会議はこちらで行いました。

ポプラ若者活動センターをご利用ください

若者と地域を結ぶ拠点として、まちづくり活動やイベントへの参加をサポートします。また貸室もあります。



場所 東札幌2条6丁目ターミナルハイツ白石3階
時間 10時～22時※年末年始は休み。
対象 主に34歳以下の若者。貸室は一般の方も利用可（若者利用時と料金が異なります）。

詳細 ポプラ若者活動センター ☎862-8802

